

やまて図書 2022

2022年キリスト教一致祈禱週間(1月18日~25日)

テーマ:「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」(マタイ2:2)

キリスト教の諸教会は、毎年1月に「キリスト教一致祈禱週間」を定めています。1908年、ポール・ワトソン師(当時は聖公会司祭)が教会一致のための八日間の祈りを行ったことに始まり、教会一致を求めるエキュメニズム運動の高まりとともに、この祈りが広く実践されるようになりました。教皇庁キリスト教一致推進評議会と世界教会協議会(WCC)は、その年のテーマに沿った「礼拝式文」を作成し、日本ではカトリック中央協議会と日本キリスト教協議会が共同で翻訳した小冊子を発行しています。

この小冊子を今月の図書として、おすすめコーナーに置きました。ぜひ手に取ってお祈りください。

東方の博士たちは、空に現れた輝く星に導かれました。その星は、御父の独り子が誕生した時に現れたのです。人類に神の愛と救いをもたらす希望の星、このことは救いの先触れでした。

(参考:カトリック中央協議会HP/『キリスト教一致祈禱週間』、日本キリスト教協議会・カトリック中央協議会、2022年)

教会暦 1

1月 (抜粋)

- 1月 1日 (土・祭・白) 神の母聖マリアの日
- 1月 2日 (日・祭・白) 主の公現
- 1月 9日 (日・祝・白) 主の洗礼
- 1月 23日 (日・主・緑) 神のことばの主日
- 1月 30日 (日・主・緑) 「世界こども助け合いの日」



神のことばの主日

教皇フランシスコは、2019年9月30日に自発教令を公布し、年間第三主日を「神のことばの主日」に制定され、「神のことばを祝い、学び、広めることにささげる」ことを宣言されました。

「神のことばの主日」は、キリスト教一致祈禱週間(毎年1月18日~25日)に重なります。教派を超えてキリスト教の一致のために祈りましょう。

今月の図書

キリスト教一致祈禱週間

カトリック中央協議会
日本キリスト教協議会



2020年の礼拝式文です。今年のテーマは、「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」(マタイ2:2)です。

キリスト教一致をめざしてともに祈りましょう。

豆すぎる知識

東方三博士の礼拝 (マギの礼拝)

共観福音書の中で「東方の三博士」のエピソードが記されているのは『マタイによる福音書』だけです。4世紀頃に、このマギの礼拝を受ける聖母が独立して聖母子像になったという説があります。

『聖書』に博士の人数の明記はありませんが、黄金、乳香、没薬という贈り物から3人とされました。絵画においては6世紀以降に名前が付いたほか、年代や出身地、象徴などが表されるようになったのです。

メルキオール Melchior (黄金、王権や権力支配を象徴、老人、アジア大陸から)、バルタザール Balthasar (乳香、神性を象徴、壮年、ヨーロッパ大陸から)、カスパー Casper (没薬、死と犠牲を象徴、青年、アフリカ大陸から)。聖書時代、アメリカ大陸は、まだ発見されていません。博士たちの出身を三大陸には当てはめることで世界を代表して幼子を拝みに来たことを表したのでしょうか。



バルトロメ・E・ムリーヨ
1655から1660年、
《東方三博士の礼拝》
トレド美術館蔵
画像出典:wikipedia